

科目	医療管理学	担当	北野 達也	履修学年	1年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

この講義では、医療マネジメントコース専門科目全般の概要を学びつつ、患者本位の安全・安心で質の高い医療提供を実践するための知識と理解を深め、組織横断的な医療管理の実践手法、医療機関における総合的なリスクマネジメント実践手法などを身につける。近年、医療機関においては「質・安全管理部」、「医療マネジメント部」、「医療経営管理部」、「経営企画部」などの部門に専従・専任医療安全管理者、認定医療メディエーター、認定医療クオリティ・マネジャー、医療経営士などの医療専門官が配置されており、将来、副院長・院長補佐、理事長など病院管理者に登用されるべく実践手法についても学ぶ。

【履修注意】

携帯電話電源切又はマナーモード、飲食禁、講義中入退室禁、10回以上出席を条件とする。
※「医療管理学」は医療マネジメントコース必修科目である。

【評価方法】

①期末テストによる評価:60%、②授業参加(積極的な授業参加、討論、発言、出席状況、レポートなど):40%

【試験について】

筆記試験を行う。

再試験対象者の条件:総合(期末テスト及び授業参加・レポート等)による評価が60点未満の学生
※但し、総合による評価が40点未満の学生は不合格とし、再試験を実施しない。

【予習・復習】

各回授業内容に応じ、授業前予習(専門用語、関連文献等の検索)、授業後の復習として、学習内容についてまとめ、国内外関連文献検索等によりさらに知識を深めること。※1コマ当たり90分を目安に予習・復習を行うこと。

【教科書】

購入教科書なし

【参考書】

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	Introduction	医療管理学とは?医療管理学の基本的な考え方、歴史的背景
2	医療政策	社会保障制度、診療報酬制度、医療制度改革、医療法、医師法
3	医学教育	医学教育史、医療倫理、プロフェッショナリズム、利他的教育
4	医療の質管理Ⅰ	医療クオリティ・マネジャー・評価調査者(サーベイヤー)の役割
5	医療の質管理Ⅱ	Total Quality Management、クリニカル・パス、クリニカル・ガバナンス、臨床監査
6	医療の質管理Ⅲ	第三者機関の活用、医療の質評価、Evidence Practice Gap
7	地域医療	地域医療再生、ヘルスプロモーション、健康教育、SRI(社会的責任投資)の活用
8	中間まとめ	1~7まとめ(レポート)
9	患者安全管理Ⅰ	患者安全管理のあり方、専従・専任医療安全管理者の役割
10	患者安全管理Ⅱ	患者参加、説明責任、医療メディエーション、コーチング、ファシリテーション
11	医療コミュニケーション	患者-医療者間パートナー・シップの確立:グループワーク
12	医療機関における組織管理Ⅰ	医療機関の組織構造、組織・人材の役割、Team Building、Non-Technical Skills、インプロヴィゼーション教育導入の重要性
13	医療機関における組織管理Ⅱ	組織調整、組織マネジメント評価、Enterprise Risk Management
14	課題解決のための演習Ⅰ	医療の質・安全管理体制再構築のための新たな手法:演習Ⅰ・インプロヴィゼーション教育導入
15	課題解決のための演習Ⅱ	人的資源管理、組織マネジメントのための新たな手法:演習Ⅱ・目的・目標の明確化⇒合意形成のためのワークショップ実施
16	期末試験	15コマの復習・確認・まとめ